



『文化』

昨年から小学生以来、約20年ぶりにアニメを見るようになりました。ワンピースにハマっているのですが、格好いいキモノ姿の絵を模写しました。

毎週のように描いていて、よいストレス発散になっていますが、もらってくれる子供さんが何をよろこぶかを考えて描くことがとても張り合いがあって楽しく続けられている理由です。自分一人が好きな絵を描いて溜めていても無意味に思えてきてむなしくやめて捨てていたと思います。

私がひきこもりから抜け出したいと強く決意したのはこうした外部とのつながりをもって自分の好きな世界を広げたい、他の人と接して自分（人間）を成長させたいというこれからの人生への希望を持ったからです。

今の趣味はアニメ（マンガ）の他に昭和30年代の邦画と昭和歌謡、シティーポップ、スポーツ観戦です。ひきこもっていると話し相手は母しか居なく、楽しみは共有できず、知識や考え方は広がらず、なかなか自分が成長、変化すること難しいです。

今回応募した絵はキモノ姿の模写で、文章のテーマは文化です。

自分が大人になってからハマるとは全く予想していなかったアニメや漫画、声優業などは日本独特で魅力的な立派な文化なのだと認識し、戦後の邦画は第二次世界大戦や明治から昭和の歴史、文化へ大きな関心をもつきっかけになり、歌謡曲やシティーポップからは時代背景などを知ること、想像するのも楽しいです。

今の私は趣味を通して昭和の歴史、文化や世界大戦について知り、考え、想像力を働かせることが有意義です。アニメやマンガも立派な文化になっているし、声優業の変遷をさかのぼると邦画全盛期の俳優業に通じていると思っています。日本（や世界）の文化、歴史をもっと知りたい、趣味を共有したい、他人と関わる（接する）機会をもって自分を成長させたいというのがひきこもりから抜け出そうと決めたときからとどまらない意欲です。弱気になるときもあったし、現状も思い通りに行かずにストレスが溜まりがちですが、意欲？夢？がなくなったことはありません。今までの長かったひきこもった生活の中でも（知らず）趣味はとても大切でかけがえない活力となっていたのかもしれない。